

上越信用金庫
中小企業景気動向調査
上越市版

〒942-0001

上越市中央1丁目11番1号

TEL 025-546-7145

FAX 025-545-4400

URL <https://www.joetsu-shinkin.jp>

担当: 総合企画部

Vol. 35

2020/7 発行

上越信用金庫では、この程上越地域の中小企業の皆様からご協力をいただき、2020年4月～6月期の景気の現状と2020年7月～9月期の見通しを調査いたしました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。なお、今回は2020年3月に行った前回調査結果および信金中央金庫が実施している同種の調査結果による全国平均とを比較して分析しています。

<調査概要>

1. 調査時点 : 2020年5月15日～6月12日
2. 調査方法 : 上越地域の営業店得意先による調査表に基づくアンケート
3. 依頼先数 : 328社(有効回答数325社・回答率99.1%)【信金中央金庫アンケート分含む】
4. 分析方法 : 各質問項目について、「増加」(良い) - 「減少」(悪い)の構成比の差=判断D. I. に基づく分析
D. I. とは、良い割合から悪い割合を差引いた値
5. 分析値 : 各数値は、四捨五入にて表示

<概況>

～今期は大幅な業況悪化、全国平均は過去最悪水準～

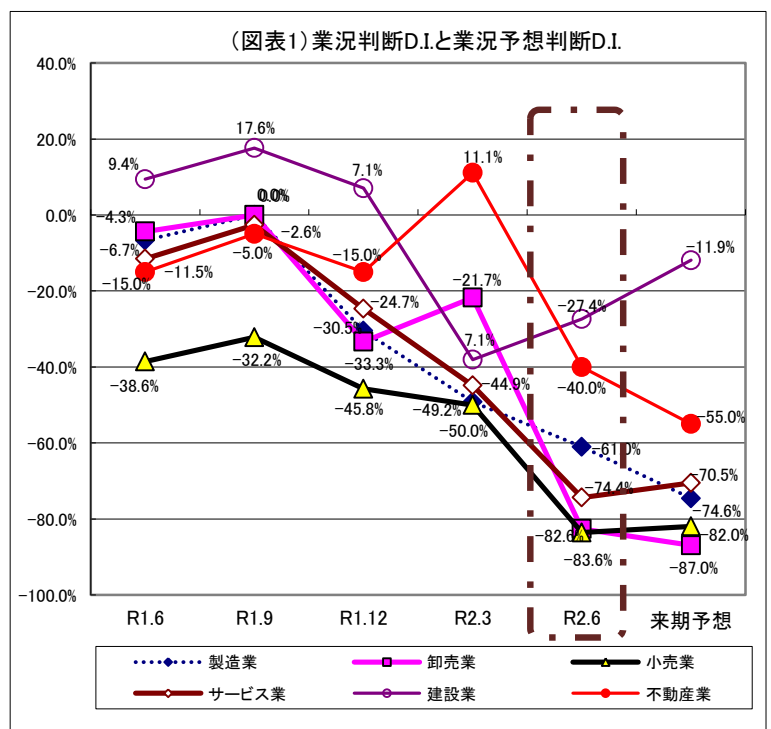
2020年4月～6月期(今期)の業況判断D. I. は、△60.0(前回△40.0)となり、前期より20.0ポイントの大幅な悪化となりました。また、全国平均においては△56.9(前回△19.3)と前期に比べ37.6ポイント悪化となり、今回の悪化幅は、バブル崩壊局面やリーマンショック時を大きく上回り、過去最大、水準面でもリーマンショック時のボトム(2009年1月～3月△55.3)を下回り過去最悪水準まで低下しています。

当地の今期の業種別業況判断D. I. を見ると、建設業は改善、他の4業種は大幅な悪化となりました。

製造業	△61.0	(前回△49.2)	前回比△11.8
卸売業	△82.6	(前回△21.7)	前回比△60.9
小売業	△83.6	(前回△50.0)	前回比△33.6
サービス業	△74.4	(前回△44.9)	前回比△29.5
建設業	△27.4	(前回△38.1)	前回比+10.7
不動産業	△40.0	(前回11.1)	前回比△51.1

全国調査では、全6業種で大幅に悪化しています。

2020年7月～9月期(来期)の業況予想判断D. I. は、△58.5となり、今期実績△60.0より1.5ポイント改善する見通しとなっていますが、新型コロナウイルスの影響による今後の見通しが不透明なこともあり、売上減少や資金繰りについての不安の声が多く聞かれました。



～売上額、収益ともに低下～

収益面では、売上額判断D. I. が△53.8（前回△43.4）と10.4ポイント低下、収益判断D. I. は△54.5（前回△42.8）と、11.7ポイント低下する結果となりました。来期の予想収益判断D. I. は△40.3と14.2ポイント改善の見通しとなっています。

業種別の収益判断D. I. では、建設業は改善、他の5業種は大幅な低下となりました。

業種別の来期7月～9月期の収益予想判断D. I. では、製造業、卸売業、小売業、サービス業、不動産業の5業種で改善、建設業は低下の予想となっています。

（製造業△55.9（当期実績△61.0）、卸売業△52.2（当期実績△69.6）、小売業△54.1（当期実績△65.6）、サービス業△38.5（当期実績△76.9）、建設業△19.0（当期実績△16.7）、不動産業△35.0（当期実績△55.0））

～人手不足感は大幅な緩和～

人手過不足判断D. I. は、△2.5（マイナスは人手「不足」超）となり、長く人手不足の状態が続いていましたが前回（△27.8）より25.3ポイントの大幅な緩和となりました。新型コロナウイルスの影響による休業や、生産量、営業時間の短縮等の影響が出ていると史料されます。全国平均△2.0（前期△22.7）は前期比20.7ポイントの緩和となっています。

～販売価格、仕入価格はともに低下～

販売価格判断D. I. は、△14.8（前回△4.7）と10.1ポイントの低下となりました。前回、1年ぶりにマイナス水準に転じましたが今回もマイナス水準となっています。一方、全国平均も、△12.4（前回0.1）と12.3ポイント低下し、2011年1～3月期（△12.4）以来、約9年ぶりの水準まで低下しています。また、仕入価格判断D. I. は、3.4（前回16.3）となり12.9ポイント低下する結果となりました。全国平均（0.9）も14.0ポイント低下しています。

～資金繰りは悪化、全国平均はリーマンショック時以来の水準～

資金繰り判断D. I. は、△37.5（前回△23.4）と14.1ポイント悪化しています。全国平均△31.8（前回△11.3）は20.5ポイントの悪化となり、リーマンショック時（2009年1月～3月△32.2）以来の厳しい水準まで低下しています。

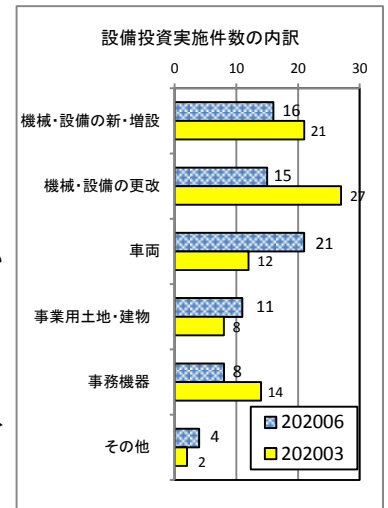
業種別の資金繰り判断D. I. は、製造業は改善、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業は悪化しており、特にサービス業△59.0（前回△17.9）は41.0ポイントの大幅な悪化となっています。

～設備投資は低下したものの、全国平均以上で推移～

設備投資実施企業割合は、23.1となり、前回（26.3）より3.2ポイント低下したものの、全国平均17.1（前回21.5）を上回る高い投資マインドとなっています。

内訳としては、車両21先（前回12先）、機械・設備の新・増設16先（前回21先）、機械・設備の更新15先（前回27先）、事業用土地・建物11先（前回8先）等となっております。

来期（予定）については、設備投資計画企業割合が18.8と4.3ポイント減少予定で、調査開始以来初めて20%を下回る見通しとなっています。

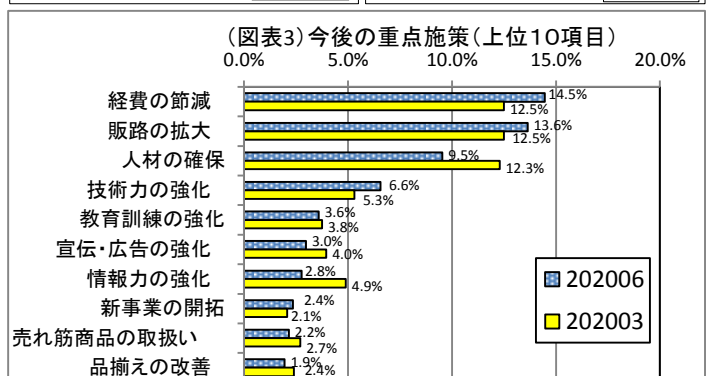
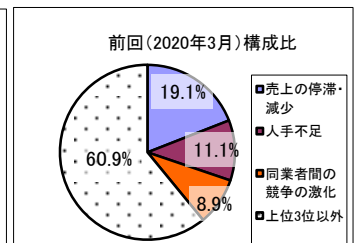
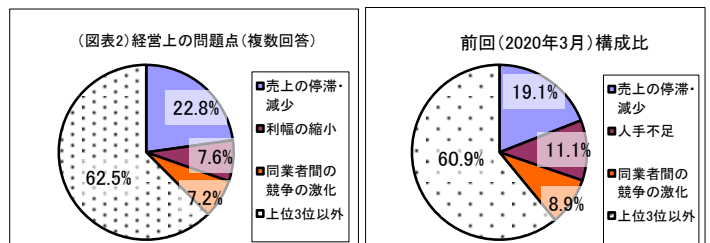


～経営上の問題点と重点施策～

経営上の問題点の上位3項目は、「売上の停滞・減少」「利幅の縮小」「同業者間の競争の激化」となりました。新型コロナウイルスの影響から、長く上位を占めていた「人手不足」に代わり「利幅の縮小」が大きな問題点として取り上げられています。（図表2）

これら経営の問題点を踏まえた、今後の重点施策について上位3位は、「経費の節減」14.5%、「販路の拡大」13.6%、「人材の確保」9.5%となりました。

その他の項目においては「技術力の強化」「新事業の開拓」は増加、「教育訓練の強化」「宣伝・広告の強化」「情報力の強化」「売れ筋商品の取扱い」「品揃えの改善」はポイントを減らす結果となっています。（図表3）



<製造業>【回答企業59社】

今期の業況判断D.I.は、△61.0(前回△49.2)となり、11.8ポイントの悪化となっています。来期予想の業況予想判断D.I.は、△74.6となり、13.6ポイント悪化の見通しとなっています。(図表1)
 全国平均は△61.8(前回△24.3)と37.5ポイント悪化、来期は△63.9と引続き悪化する見通しとなっています。

製造業内の主要4業種の今期の業種別業況判断D.I.は、「食料品△83.3(前回△71.4)」「その他金属製品△93.8(前回△45.5)」は悪化、「その他の製造業△57.1(前回△60.0)」「一般機械器具0.0(前回△80.0)」は改善となっています。

来期の業況予想判断D.I.は、「その他金属製品」「その他の製造業」は横ばい、「食料品」「一般機械器具」は悪化の見通しとなっています。

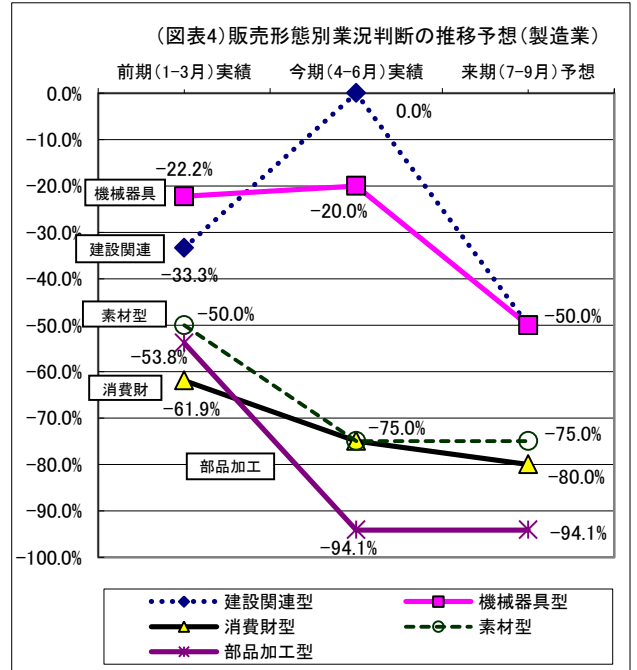
また、販売形態別の業況判断D.I.においては、「機械器具型△20.0(前回△22.2)」「建設関連型0.0(前回△33.3)」は改善、「部品加工型△94.1(前回△53.8)」「素材型△75.0(前回△50.0)」「消費財型△75.0(前回△61.9)」は悪化となりました。

来期の販売形態別の業況予想判断D.I.は、「素材型」「部品加工型」は横ばい、「建設関連型△50.0」「消費財型△80.0」「機械器具型△50.0」は悪化を予想しております。(図表4)

収益判断D.I.については、△61.0(前回△50.8)と前期比で10.2ポイント低下する結果となりました。

来期の予想収益判断D.I.は△55.9と5.1ポイントの改善の見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D.I.が20.3(前回△13.6)となり、33.9ポイント上昇し、急速に人手過多の状態となっています。



<卸売業>【回答企業23社】

今期の業況判断D.I.は、△82.6(前回△21.7)と60.9ポイントの大幅な悪化となりました。来期の業況予想判断D.I.は△87.0となっており、4.4ポイント低下の厳しい見通しとなっています。(図表1)
 全国平均△63.9(前回△30.8)は33.1ポイント悪化、来期は△65.3を予想しています。

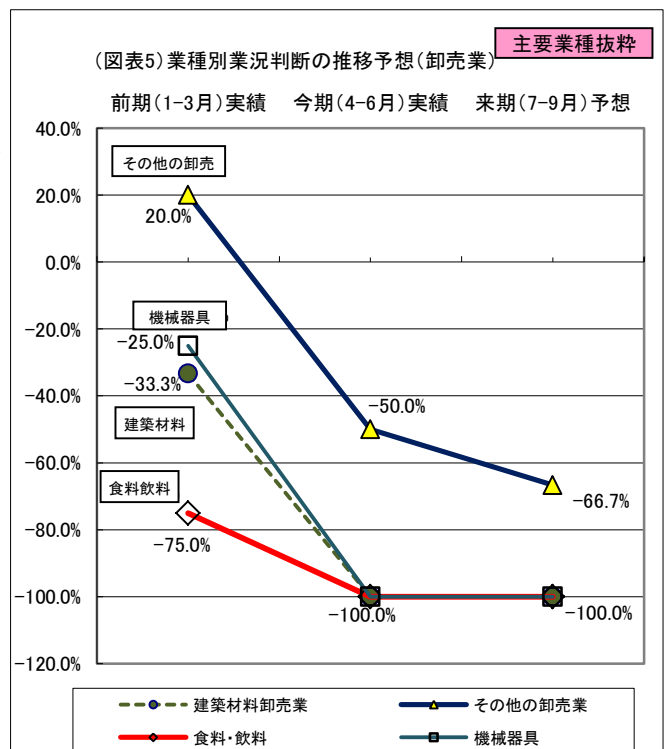
卸売業内の今期の業種別業況判断D.I.(上位4業種)は、「食料飲料△100.0(前回△75.0)」「その他の卸売業△50.0(前回20.0)」「機械器具△100.0(前回△25.0)」「建築材料△100.0(前回△33.3)」と4業種全てで悪化となりました。

来期の業種別業況予想判断D.I.は、「建築材料」「食料飲料」「機械器具」は横ばい、「その他の卸売業△66.7」は悪化の見通しとなっています。(図表5)

収益面では売上判断D.I.は△73.9(前回△13.0)と60.9ポイントの低下、収益判断D.I.も△69.6(前回△8.7)と60.9ポイントの大幅な改善となっています。

来期の予想収益判断D.I.は△52.2と17.4ポイント改善の見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D.I.が13.0(前回△21.7)となり、慢性的な人手不足が続いていた状況から急激な変化となっています。



<小売業>【回答企業61社】

今期の業況判断D. I. は、 $\Delta 83.6$ （前回 $\Delta 50.0$ ）と33.6ポイントの大幅な悪化となりました。来期の業況予想判断D. I. は $\Delta 82.0$ と1.6ポイント改善も厳しい予想となっています。（図表1）
 全国平均 $\Delta 62.4$ （前回 $\Delta 29.9$ ）は32.5ポイント悪化、来期は $\Delta 63.1$ を予想しています。

小売業内の今期の業種別業況判断D. I. は、上位7業種のうち、「書籍・文房具」は改善、「スポーツ用品・がん具」は横ばい、「飲食料品」「自動車・自転車」「衣服・身のまわり品」「燃料」「その他小売業」の5業種は悪化する結果となりました。

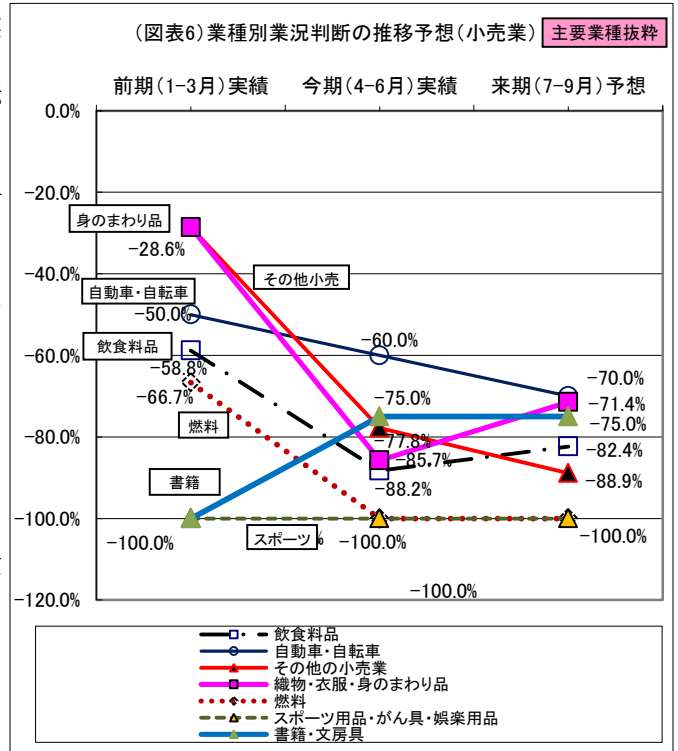
また、来期の業種別業況予想判断D. I. は、「飲食料品」「衣服・身のまわり品」は改善、「書籍・文房具」「スポーツ用品・がん具」「燃料」は横ばい、「自動車・自転車」「その他小売業」は悪化する見通しとなっています。

（図表6）

収益面では、売上額判断D. I. が $\Delta 78.7$ （前回 $\Delta 58.6$ ）と20.1ポイント低下し、収益判断D. I. も $\Delta 65.6$ （前回 $\Delta 53.4$ ）と12.2ポイント低下する結果となりました。

来期の予想収益判断D. I. は $\Delta 54.1$ と11.5ポイント改善する見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が0.0（前回 $\Delta 19.0$ ）となり、人手不足感は急速に弱まっています。



<サービス業>【回答企業78社】

今期の業況判断D. I. は、 $\Delta 74.4$ （前回 $\Delta 44.9$ ）と29.5ポイントの大幅な悪化となっています。来期の業況予想判断D. I. は $\Delta 70.5$ と3.9ポイント改善も厳しい予想となっています。（図表1）

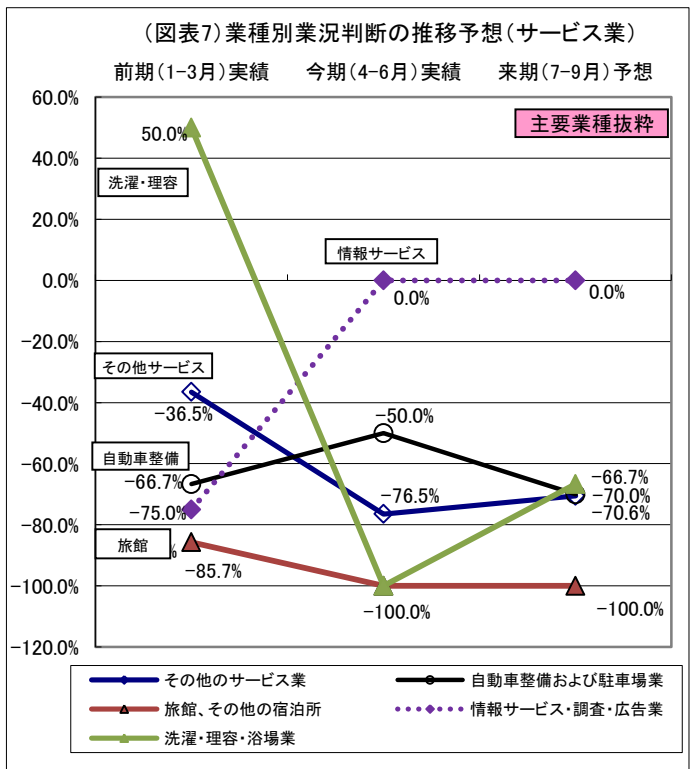
サービス業内の上位5業種の今期の業種別業況判断D. I. は、「情報サービス0.0（前回 $\Delta 75.0$ ）」
 「自動車整備業 $\Delta 50.0$ （前回 $\Delta 66.7$ ）」は改善、
 「旅館業 $\Delta 100.0$ （前回 $\Delta 85.7$ ）」
 「洗濯・理容 $\Delta 100.0$ （前回50.0）」
 「その他のサービス業 $\Delta 76.5$ （前回 $\Delta 36.5$ ）」は悪化となりました。

また、来期の業種別業況予想判断D. I. では、「洗濯・理容 $\Delta 66.7$ 」「その他のサービス業 $\Delta 70.6$ 」は改善、「旅館業」「情報サービス」は横ばい、「自動車整備業 $\Delta 70.0$ 」は悪化を予想しております。（図表7）

収益判断D. I. は、 $\Delta 76.9$ （前回 $\Delta 44.9$ ）と32.0ポイントの低下となりました。

来期の予想収益判断D. I. は $\Delta 38.5$ と38.4ポイント改善の見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が10.3（前回 $\Delta 35.9$ ）となり、慢性的な人手不足から一転、人手過多の状態となっています。



<建設業>【回答企業84社】

前回、記録的な少雪の影響がありましたが、今期の業況判断D. I. は、 $\Delta 27.4$ (前回 $\Delta 38.1$)と10.7ポイントの改善となりました。しかし前回4期振りにマイナス指数に転じましたが、今回も改善したもののマイナス指数となっています。

来期の業況予想判断D. I. については $\Delta 11.9$ と1.2ポイント改善の見通しとなっています。(図表1)

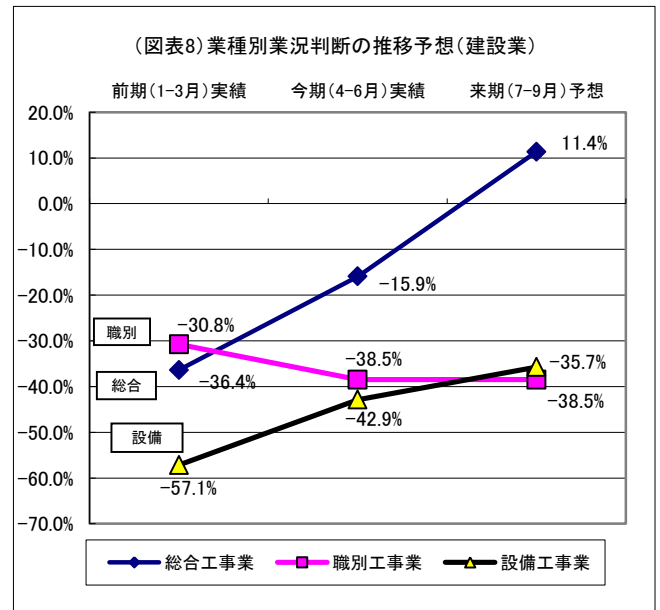
建設業内の今期の業種別業況判断D. I. は、「総合工事業 $\Delta 15.9$ (前回 $\Delta 36.4$)」「設備工事業 $\Delta 42.9$ (前回 $\Delta 57.1$)」は改善、「職別工事業 $\Delta 38.5$ (前回 $\Delta 30.8$)」は悪化となりました。

来期の業況予想については、「総合工事業11.4」「設備工事業 $\Delta 35.7$ 」はさらに改善、「職別工事業」は横ばいの見通しとなっています。(図表8)

収益判断D. I. については、 $\Delta 16.7$ (前回 $\Delta 46.4$)と29.7ポイントの改善となりました。

来期の予想収益判断D. I. は $\Delta 19.0$ を予想しており、2.3ポイント低下の見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が $\Delta 32.1$ (前回 $\Delta 34.5$)と2.4ポイント緩和したものの、厳しい状況が続いています。



<不動産業>【回答企業20社】

今期の業況判断D. I. は、 $\Delta 40.0$ (前回11.1)と51.1ポイント悪化しました。

来期の業況予想判断D. I. は $\Delta 55.0$ とさらに悪化する見通しとなっています。(図表1)

全国平均 $\Delta 43.7$ (前回0.2)は43.9ポイントの悪化、来期は $\Delta 46.5$ を予想しています。

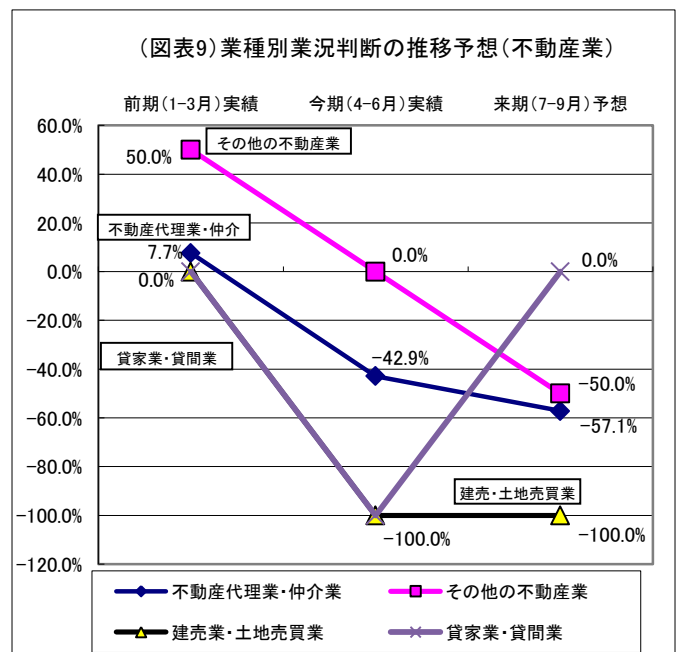
不動産業内の業種別では、「建売・土地売買業 $\Delta 100.0$ (前回0.0)」「不動産代理業・仲介業 $\Delta 42.9$ (前回7.7)」「その他の不動産業0.0(前回50.0)」「貸家業・貸間業 $\Delta 100.0$ (前回0.0)」となり全4業種で悪化となりました。

来期の業況予想D. I. は、「貸家業・貸間業0.0」は改善、「建売・土地売買業」は横ばい、「不動産代理業・仲介業 $\Delta 57.1$ 」「その他の不動産業 $\Delta 50.0$ 」は悪化の見通しとなっています。(図表9)

収益判断D. I. については、 $\Delta 55.0$ (前回0.0)となり低下となりました。

また、来期の予想収益判断D. I. については $\Delta 35.0$ を予想しており改善の見通しとなっています。

雇用面では、人手過不足判断D. I. が $\Delta 20.0$ (前回 $\Delta 44.4$)となり、24.4ポイント緩和したものの、人手不足の状況が続いています。



以上

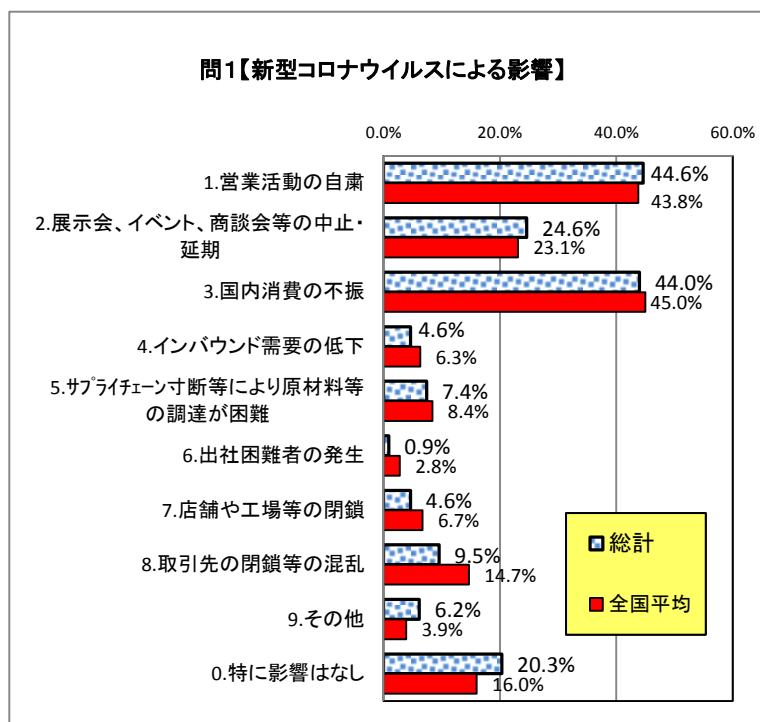
特別調査の結果について
～新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について～

感染が拡大した新型コロナウイルスは、多くの貴重な人命を奪うとともに、生産活動の混乱や外出自粛の高まりを通じて、中小企業の経営に甚大な被害を与えています。そこで今回は、新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について調査しました。

なお、複数回答の設問については、項目合計が100%をこえることとなりますのでお含みおき下さい。

【問1】貴社の事業活動は、新型コロナウイルスによる影響を受けていますか。次の1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。特に影響がなかった方は、0とお答えください。

新型コロナウイルスによる事業活動への影響については、「営業活動の自粛」が44.6%と最も高く、以下、「国内消費の不振(44.0%)」、「展示会、イベント、商談会等の中止・延期(24.6%)」、「取引先の閉鎖等の混乱(9.5%)」が続いています。対して、「特に影響はなし」は20.3%となりました。全国調査によると従業員規模別にみると、規模が大きいほど「営業活動の自粛」の割合が高い傾向にあり、規模が小さいほど「特に影響はなし」の割合が高い傾向となっています。

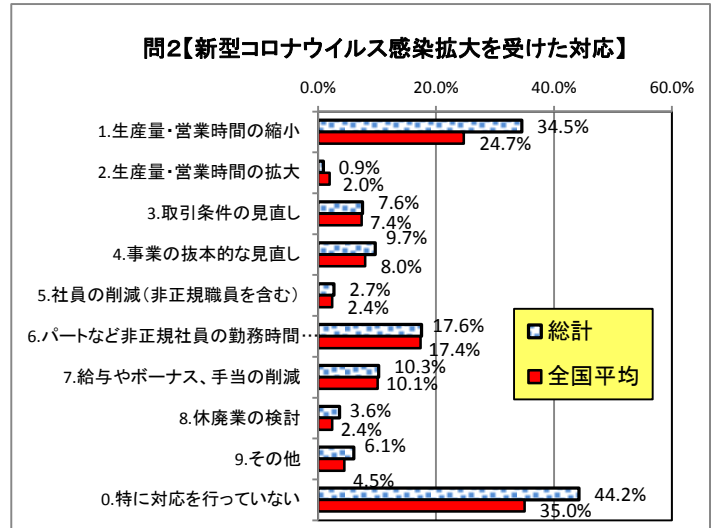


問1	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
1. 営業活動の自粛	50.8%	39.1%	39.3%	57.7%	33.3%	45.0%	44.6%	43.8%
2. 展示会、イベント、商談会等の中止・延期	37.3%	43.5%	18.0%	28.2%	13.1%	20.0%	24.6%	23.1%
3. 国内消費の不振	55.9%	82.6%	63.9%	42.3%	11.9%	45.0%	44.0%	45.0%
4. インバウンド需要の低下	1.7%	4.3%	3.3%	11.5%	1.2%	5.0%	4.6%	6.3%
5. サプライチェーン寸断等により原材料等の調達が困難	1.7%	17.4%	1.6%	5.1%	16.7%	0.0%	7.4%	8.4%
6. 出社困難者の発生	0.0%	0.0%	1.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.9%	2.8%
7. 店舗や工場等の閉鎖	3.4%	0.0%	4.9%	3.8%	2.4%	25.0%	4.6%	6.7%
8. 取引先の閉鎖等の混乱	10.2%	13.0%	18.0%	1.3%	7.1%	20.0%	9.5%	14.7%
9. その他	3.4%	4.3%	11.5%	6.4%	3.6%	10.0%	6.2%	3.9%
0. 特に影響はなし	11.9%	8.7%	4.9%	14.1%	46.4%	20.0%	20.3%	16.0%

【問2】新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴社ではどのような対応をとられていますか。次の1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。特に対応を行っていない方は、0とお答えください。

新型コロナウイルス感染拡大を受けた対応については、「生産量・営業時間の縮小（34.5%）」が最も高く、以下、「パートなど非正規社員の勤務時間削減（17.6%）」、「給与やボーナス、手当の削減（10.3%）」が続きました。対して、「特に対応を行っていない」は44.2%となりました。

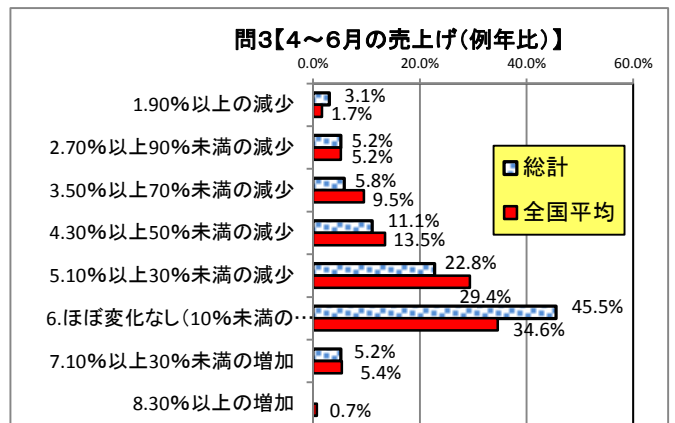
業種別にみると、小売業、サービス業で「パートなど非正規社員の勤務時間削減」の割合が高くなっていますが、全体的には「生産量・営業時間の縮小」の割合が高くなっています。



問2	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
1.生産量・営業時間の縮小	52.5%	39.1%	44.3%	43.6%	9.5%	20.0%	34.5%	24.7%
2.生産量・営業時間の拡大	1.7%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	4.0%	0.9%	2.0%
3.取引条件の見直し	3.4%	13.0%	6.6%	9.0%	3.6%	24.0%	7.6%	7.4%
4.事業の抜本的な見直し	6.8%	13.0%	19.7%	7.7%	4.8%	12.0%	9.7%	8.0%
5.社員の削減(非正規職員を含む)	0.0%	0.0%	0.0%	9.0%	1.2%	4.0%	2.7%	2.4%
6.パートなど非正規社員の勤務時間削減	16.9%	21.7%	26.2%	29.5%	3.6%	4.0%	17.6%	17.4%
7.給与やボーナス、手当の削減	13.6%	30.4%	9.8%	11.5%	4.8%	0.0%	10.3%	10.1%
8.休廃業の検討	6.8%	4.3%	1.6%	5.1%	2.4%	0.0%	3.6%	2.4%
9.その他	1.7%	4.3%	8.2%	6.4%	9.5%	0.0%	6.1%	4.5%
0.特に対応を行っていない	37.3%	34.8%	37.7%	29.5%	72.6%	36.0%	44.2%	35.0%

【問3】貴社における今期(4～6月)の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合(例年の4～6月)と比較して、どの程度変化しましたか。次の1～8の中からお答えください。

仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合(例年の4～6月)と比較しての今期(4～6月)の売上げについては、10%以上減少した企業が全体の48.0%を占めています。対して、「ほぼ変化なし(10%未満の増減)」は45.5%、「10%以上増加」は6.2%となっています。内訳をみると、「90%以上減少(3.1%)」、「70%以上90%未満の減少(5.2%)」、「50%以上70%未満の減少(5.8%)」と、売上が半分以上減少した企業が、合計で全体の7社に1社におよんでいます。全国調査によるととりわけサービス業の旅館・ホテルや娯楽業を中心に売上が減少した企業が多くみられます。



問3	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
売上が10%以上の減少	52.5%	56.5%	59.0%	51.3%	31.0%	50.0%	48.0%	59.3%
1.90%以上の減少	0.0%	4.3%	1.6%	10.3%	0.0%	0.0%	3.1%	1.7%
2.70%以上90%未満の減少	5.1%	8.7%	8.2%	3.8%	1.2%	15.0%	5.2%	5.2%
3.35%以上70%未満の減少	8.5%	4.3%	6.6%	7.7%	2.4%	5.0%	5.8%	9.5%
4.43%以上50%未満の減少	10.2%	8.7%	16.4%	12.8%	8.3%	5.0%	11.1%	13.5%
5.51%以上30%未満の減少	28.8%	30.4%	26.2%	16.7%	19.0%	25.0%	22.8%	29.4%
6.ほぼ変化なし(10%未満の増減)	37.3%	39.1%	34.4%	46.2%	60.7%	45.0%	45.5%	34.6%
売上が10%以上の増加	10.2%	4.3%	6.6%	2.6%	8.3%	0.0%	6.2%	6.1%
7.7.10%以上30%未満の増加	6.8%	4.3%	6.6%	2.6%	7.1%	0.0%	5.2%	5.4%
8.8.30%以上の増加	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.9%	0.7%

【問4】貴社では、危機関連保証や制度融資など、新型コロナ対応の資金繰り支援制度を利用しましたか。1～5の中からお答えください。また、資金繰り以外の政府による支援策（補助金、休業補償、減税、納税猶予など）を受けましたか。6～0の中からお答えください。

新型コロナ対応の資金繰り支援制度および、資金繰り以外の政府による支援策（補助金、休業補償、減税、納税猶予など）活用状況について、資金繰り支援制度は20.9%、支援策は12.0%がすでに利用、「申請中」は資金繰り支援制度で11.4%、支援策で19.1%となっています。一方、「申請したが、利用できなかった」は資金繰り支援制度で0.6%、支援策では0.3%にとどまり、申請した企業ではほとんどが利用できたことがうかがえます。また、「今後、利用する可能性がある」は資金繰り支援制度で40.9%、支援策で44.3%に上っており、今後、利用申請がさらに増える可能性があります。

問4		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
資金繰り支援制度	1.すでに利用した	22.0%	34.8%	18.0%	30.8%	11.9%	10.0%	20.9%	21.9%
	2.申請中である	13.6%	13.0%	13.1%	14.1%	7.1%	5.0%	11.4%	15.2%
	3.今後、利用する可能性がある	49.2%	34.8%	47.5%	26.9%	40.5%	60.0%	40.9%	36.9%
	4.今後も利用するつもりはない	15.3%	13.0%	19.7%	28.2%	39.3%	25.0%	25.8%	25.4%
	5.申請したが、利用できなかった	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	1.2%	0.0%	0.6%	0.6%
政府による支援策	6.すでに利用した	10.2%	17.4%	14.8%	16.7%	7.1%	5.0%	12.0%	11.3%
	7.申請中である	22.0%	21.7%	18.0%	25.6%	11.9%	15.0%	19.1%	18.2%
	8.今後、利用する可能性がある	49.2%	43.5%	44.3%	33.3%	47.6%	60.0%	44.3%	46.5%
	9.今後も利用するつもりはない	15.3%	13.0%	21.3%	20.5%	33.3%	20.0%	22.5%	23.4%
	0.申請したが、利用できなかった	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%

【問5】災害や急な不況の対策として、常時、手元の流動性資金の確保をしていると思いますが、貴社では、新型コロナウイルスの影響が出る以前、現預金をどの程度保有していましたか。現預金の保有が最も少ない時期（売掛金の回収直前など）を想定したうえで、1～6の中からお答えください。また、貴社では2020年中の資金繰りについて、どうお考えですか。7～0の中からお答えください。

新型コロナウイルスの影響が出る以前に保有していた現預金残高については、「売上の3か月分以上」が14.5%（全国24.9%）、「売上の1～3か月分」が42.2%（全国42.3）となっています。全国調査によると2009年に行った同様の調査ではそれぞれ13.9%、28.9%にとどまっており、当時と比較して相対的に現預金を保有していたことがうかがえます。2020年中の資金繰りについては、「やや不安がある」が44.9%、「かなり不安がある」が24.9%と、合計で約7割の企業で不安があると回答しています。

問5		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総計	全国平均
現預金の保有制度	1.売上げの3か月分以上	13.6%	13.0%	11.5%	12.8%	14.3%	35.0%	14.5%	24.9%
	2.売上げの1～3か月分	44.1%	26.1%	36.1%	46.2%	45.2%	45.0%	42.2%	42.3%
	3.売上げの2週間分～1か月	23.7%	21.7%	14.8%	17.9%	16.7%	0.0%	17.2%	15.8%
	4.売上げの2週間分未満	5.1%	8.7%	16.4%	2.6%	7.1%	5.0%	7.4%	6.0%
	5.ほとんど保有していない	10.2%	21.7%	13.1%	15.4%	13.1%	15.0%	13.8%	6.6%
	6.把握していない	3.4%	8.7%	6.6%	3.8%	2.4%	0.0%	4.0%	4.4%
今年中の資金繰り	7.不安はない	3.4%	4.3%	11.5%	6.4%	9.5%	15.0%	8.0%	11.9%
	8.あまり不安はない	20.3%	17.4%	14.8%	23.1%	27.4%	20.0%	21.5%	26.3%
	9.やや不安がある	45.8%	52.2%	44.3%	39.7%	45.2%	55.0%	44.9%	47.2%
	0.かなり不安がある	28.8%	26.1%	29.5%	30.8%	16.7%	10.0%	24.9%	14.6%

合計 / D.I.													
業種区分	項目	分析基準	201803	201806	201809	201812	201903	201906	201909	201912	202003	202006	202009
総計	<業況>(実績)		-18.3	-15.2	-3.4	1.3	-19.4	-9.6	-2.2	-21.3	-40.0	-60.0	
	<業況>(予想)		-25.6	-7.3	-6.5	-3.7	-24.1	0.6	-4.0	-14.8	-31.8	-38.8	-58.5
	<売上額>		-25.7	-3.4	7.8	6.3	-17.0	-0.6	1.8	-18.5	-43.4	-53.8	
	<売上額>(前年同期比)		-10.7	-1.9	4.4	6.6	-7.1	-1.2	-2.8	-24.7	-40.3	-63.7	
	<収益>		-29.1	-8.1	1.6	-1.9	-21.3	-5.0	-4.0	-21.9	-42.8	-54.5	
	<収益額>(前年同期比)		-15.6	-8.4	-5.6	-1.9	-12.0	-5.0	-7.1	-29.3	-37.8	-59.7	
	<収益>(予想)		-27.7	-0.3	2.5	-3.7	-27.8	6.2	-1.9	-8.6	-29.9	-22.5	-40.3
	<販売価格>		-4.9	4.0	5.0	-2.8	-1.9	3.4	2.2	1.2	-4.7	-14.8	
	<仕入れ価格>		25.1	33.5	30.5	26.3	25.0	27.6	23.4	26.5	16.3	3.4	
	<資金繰り>【楽 - 苦】		-13.8	-13.4	-6.2	-12.5	-15.4	-15.8	-9.5	-16.0	-23.4	-37.5	
	<人手過不足>【過剰 - 不足】		-30.0	-29.8	-40.2	-35.6	-34.9	-36.8	-44.3	-37.7	-27.8	-2.5	
	<残業時間>		6.7	-0.3	5.3	3.1	-7.1	-5.9	1.5	-1.9	-16.9	-33.2	
	<借入難易度>【易 - 難】		0.0	1.9	0.9	-0.9	0.3	-3.4	1.2	-0.6	-3.1	3.1	
	<設備稼働状況>		-12.2	-16.8	-15.0	-15.0	-15.4	-17.0	-12.9	-14.8	-10.0	-5.8	
	<設備投資割合>(実績)【%】		27.2	27.6	25.5	28.4	27.2	25.1	31.1	30.6	26.3	23.1	
	<設備投資割合>(予定)【%】		23.5	26.3	26.4	24.6	20.6	27.8	27.2	23.1	22.2	26.6	18.8
	製造業	<業況>(実績)		-13.3	3.3	0.0	3.4	-16.9	-6.7	0.0	-30.5	-49.2	-61.0
<業況>(予想)			-13.1	-6.7	-5.0	-1.7	-8.5	-11.9	-18.3	-20.3	-27.1	-37.3	-74.6
<売上額>			-18.3	-1.7	-3.3	0.0	-25.4	-10.0	1.7	-23.7	-50.8	-54.2	
<売上額>(前年同期比)			5.0	6.7	-1.7	1.7	-11.9	-13.3	5.1	-25.4	-39.0	-62.7	
<収益>			-21.7	-3.3	-3.3	-5.1	-30.5	-5.0	-5.1	-25.4	-50.8	-61.0	
<収益額>(前年同期比)			-3.3	0.0	-5.0	3.4	-28.8	-10.0	0.0	-27.1	-40.7	-62.7	
<収益>(予想)			-14.8	0.0	-13.3	5.0	-30.5	-5.1	-8.3	-10.2	-37.3	-11.9	-55.9
<販売価格>			8.3	8.3	11.7	1.7	0.0	-1.7	5.1	1.7	-1.7	-13.6	
<仕入れ価格>			38.3	38.3	40.0	35.6	39.0	38.3	27.1	18.6	22.0	13.6	
<資金繰り>【楽 - 苦】			-6.7	-8.3	-1.7	-11.9	-16.9	-21.7	-16.9	-23.7	-37.3	-33.9	
<人手過不足>【過剰 - 不足】			-31.7	-31.7	-36.7	-30.5	-23.7	-35.0	-32.2	-20.3	-13.6	20.3	
<残業時間>			13.3	10.0	11.7	8.5	-6.8	-11.7	-3.4	-1.7	-11.9	-39.0	
<借入難易度>【易 - 難】			1.7	1.7	1.7	-3.4	3.4	0.0	3.4	1.7	-5.1	13.6	
<設備稼働状況>			-30.0	-31.7	-21.7	-20.3	-18.6	-21.7	-15.3	-11.9	-16.9	8.5	
<設備投資割合>(実績)【%】			36.7	30.0	30.0	37.3	33.9	28.3	37.3	30.5	30.5	25.4	
<設備投資割合>(予定)【%】			34.4	41.7	36.7	28.3	30.5	45.8	33.3	33.9	23.7	37.3	15.3
卸売業		<業況>(実績)		-33.3	-4.2	-4.5	8.7	-8.7	-4.3	0.0	-33.3	-21.7	-82.6
	<業況>(予想)		-45.8	-8.3	-25.0	9.1	-43.5	13.0	-17.4	-12.5	-45.8	-47.8	-87.0
	<売上額>		-37.5	-4.2	27.3	17.4	-8.7	13.0	-12.5	-41.7	-13.0	-73.9	
	<売上額>(前年同期比)		-37.5	0.0	0.0	4.3	4.3	34.8	-16.7	-45.8	-21.7	-87.0	
	<収益>		-33.3	0.0	13.6	13.0	-4.3	8.7	0.0	-45.8	-8.7	-69.6	
	<収益額>(前年同期比)		-33.3	-4.2	-9.1	-8.7	-4.3	30.4	-4.2	-54.2	-13.0	-82.6	
	<収益>(予想)		-45.8	-12.5	-4.2	18.2	-26.1	-26.1	4.3	-16.7	-29.2	-47.8	-52.2
	<販売価格>		8.3	16.7	4.5	13.0	-4.3	4.3	12.5	12.5	8.7	-17.4	
	<仕入れ価格>		33.3	41.7	45.5	21.7	13.0	26.1	25.0	37.5	21.7	17.4	
	<資金繰り>【楽 - 苦】		-8.3	-4.2	0.0	0.0	-17.4	-4.3	-8.3	-16.7	-21.7	-34.8	
	<人手過不足>【過剰 - 不足】		-33.3	-25.0	-27.3	-26.1	-21.7	-26.1	-37.5	-25.0	-21.7	13.0	
	<残業時間>		0.0	-4.2	0.0	-4.3	8.7	0.0	8.3	4.2	-8.7	-47.8	
	<借入難易度>【易 - 難】		4.2	16.7	4.5	0.0	0.0	0.0	4.2	12.5	0.0	13.0	
	<設備稼働状況>		-12.5	-12.5	-9.1	-17.4	-8.7	-13.0	-16.7	-16.7	-17.4	-4.3	
	<設備投資割合>(実績)【%】		20.8	16.7	9.1	13.0	17.4	17.4	20.8	12.5	17.4	17.4	
	<設備投資割合>(予定)【%】		8.3	12.5	29.2	4.5	13.0	13.0	4.3	16.7	12.5	30.4	13.0
	小売業	<業況>(実績)		-44.3	-40.7	-29.5	-21.7	-42.6	-38.6	-32.2	-45.8	-50.0	-83.6
<業況>(予想)			-39.3	-21.3	-23.7	-26.2	-28.3	-14.8	-26.3	-35.6	-39.0	-58.6	-82.0
<売上額>			-44.3	-11.9	-19.7	1.7	-24.6	-22.8	-11.9	-30.5	-58.6	-78.7	
<売上額>(前年同期比)			-34.4	-22.0	-3.3	-5.0	-19.7	-28.1	-11.9	-44.1	-43.1	-86.9	
<収益>			-45.9	-11.9	-21.3	-16.7	-31.1	-21.1	-15.3	-39.0	-53.4	-65.6	
<収益額>(前年同期比)			-39.3	-23.7	-13.1	-20.0	-23.0	-28.1	-15.3	-50.8	-34.5	-75.4	
<収益>(予想)			-34.4	-3.3	-10.2	0.0	-23.3	0.0	-10.5	-8.5	-23.7	-32.8	-54.1
<販売価格>			-16.4	10.2	9.8	-3.3	3.3	17.5	-1.7	-1.7	-1.7	-21.3	
<仕入れ価格>			14.8	30.5	16.4	11.7	31.1	22.8	10.2	20.3	1.7	-9.8	
<資金繰り>【楽 - 苦】			-31.1	-32.2	-21.3	-30.0	-21.3	-15.8	-15.3	-27.1	-32.8	-42.6	
<人手過不足>【過剰 - 不足】			-9.8	-20.3	-16.4	-16.7	-23.0	-24.6	-20.3	-28.8	-19.0	0.0	
<残業時間>			-6.6	-3.4	-3.3	-5.0	-4.9	0.0	3.4	-3.4	-12.1	-24.6	
<借入難易度>【易 - 難】			-4.9	1.7	-8.2	-10.0	-4.9	-15.8	-3.4	-11.9	-6.9	4.9	
<設備稼働状況>			-3.3	-13.6	-11.5	-8.3	-8.2	-12.3	-6.8	-16.9	-10.3	-9.8	
<設備投資割合>(実績)【%】			13.1	22.0	14.8	16.7	9.8	17.5	20.3	27.1	19.0	14.8	
<設備投資割合>(予定)【%】			9.8	16.4	20.3	23.0	8.3	13.1	21.1	16.9	16.9	13.8	14.8
サービス業		<業況>(実績)		-11.3	-18.2	1.3	5.2	-20.8	-11.5	-2.6	-24.7	-44.9	-74.4
	<業況>(予想)		-21.3	-3.8	-10.4	-9.1	-22.1	-2.6	-1.3	-19.2	-42.9	-51.3	-70.5
	<売上額>		-16.3	-5.2	22.1	1.3	-13.0	-3.8	-3.8	-10.4	-50.0	-78.2	
	<売上額>(前年同期比)		-16.3	-3.9	18.2	14.3	6.5	2.6	-3.8	-20.8	-50.0	-71.8	
	<収益>		-23.8	-9.1	11.7	-10.4	-16.9	-16.7	-10.3	-20.8	-44.9	-76.9	
	<収益額>(前年同期比)		-22.5	-13.0	1.3	-2.6	5.2	-7.7	-14.1	-23.4	-43.6	-69.2	
	<収益>(予想)		-20.0	-5.0	6.5	-16.9	-23.4	2.6	-12.8	-15.4	-35.1	-39.7	-38.5
	<料金価格>		2.5	2.6	5.2	-2.6	1.3	0.0	9.0	13.0	2.6	-14.1	
	<仕入れ価格>		38.8	35.1	32.5	32.5	28.6	23.1	24.4	37.7	24.4	-3.8	
	<資金繰り>【楽 - 苦】		-15.0	-13.0	0.0	-13.0	-19.5	-20.5	-9.0	-19.5	-17.9	-59.0	
	<人手過不足>【過剰 - 不足】		-36.3	-35.1	-46.8	-37.7	-36.4	-33.3	-48.7	-35.1	-35.9	10.3	
	<残業時間>		6.3	-1.3	6.5	0.0	-6.5	0.0	0.0	-3.9	-21.8	-46.2	
	<借入難易度>【易 - 難】		-1.3	-1.3	0.0	0.0	-5.2	-3.8	0.0	-6.5	-5.1	-1.3	
	<設備稼働状況>		-16.3	-24.7	-20.8	-20.8	-26.0	-28.2	-20.5	-26.0	-15.4	-14.1	
	<設備投資割合>(実績)【%】		35.0	33.8	35.1	33.8	27.3	30.8	37.2	41.6	34.6	29.5	
	<設備投資割合>(予定)【%】		25.0	25.0	26.0	29.9	18.2	31.2	37.2	26.9	24.7	32.1	25.6

合計 / D.I.														
業種区分	項目	分析基準	201803	201806	201809	201812	201903	201906	201909	201912	202003	202006	202009	
建設業	<業況>(実績)		-4.7	-15.3	11.9	15.5	-11.8	9.4	17.6	7.1	-38.1	-27.4		
	<業況>(予想)		-23.5	-1.2	11.8	16.7	-29.8	12.9	17.6	8.2	-23.5	-19.0	-11.9	
	<売上額>		-22.4	-2.4	21.4	21.4	-21.2	18.8	21.2	-10.6	-39.3	-7.1		
	<売上額>(前年同期比)		8.2	4.7	6.0	16.7	-11.8	11.8	2.4	-17.6	-45.2	-35.7		
	<収益>		-25.9	-10.6	13.1	15.5	-25.9	12.9	8.2	-7.1	-46.4	-16.7		
	<収益額>(前年同期比)		3.5	-2.4	-2.4	13.1	-11.8	8.2	0.0	-23.5	-46.4	-29.8		
	<収益>(予想)		-32.9	2.4	17.6	-2.4	-35.7	23.5	9.4	-3.5	-31.8	-1.2	-19.0	
	<請負価格>		-12.9	-2.4	3.6	-2.4	-7.1	10.6	-3.5	-8.2	-16.7	-8.3		
	<仕入れ価格>		17.6	36.5	39.3	35.7	17.6	37.6	35.3	34.1	17.9	16.7		
	<資金繰り>【楽 - 苦】		-7.1	-10.6	-8.3	-4.8	-10.6	-14.1	-3.5	-5.9	-19.0	-25.0		
	<人手過不足>【過剰 - 不足】		-38.8	-34.1	-63.1	-58.3	-54.1	-55.3	-70.6	-67.1	-34.5	-32.1		
	<残業時間>		17.6	-4.7	7.1	10.7	-18.8	-11.8	4.7	0.0	-23.8	-20.2		
	<借入難易度>【易 - 難】		3.5	-2.4	6.0	4.8	7.1	2.4	2.4	4.7	1.2	-1.2		
	<設備稼働状況>		-4.7	-5.9	-11.9	-13.1	-14.1	-11.8	-10.6	-8.2	0.0	-7.1		
	<設備投資割合>(実績)【%】		30.6	32.9	31.0	35.7	43.5	30.6	38.8	35.3	28.6	28.6		
	<設備投資割合>(予定)【%】		32.9	32.9	28.2	28.6	31.0	32.9	30.6	23.5	30.6	27.4	23.8	
	不動産業	<業況>(実績)		-23.5	5.9	-17.6	-23.5	5.3	-15.0	-5.0	-15.0	11.1	-40.0	
		<業況>(予想)		-23.5	-5.9	0.0	-23.5	-17.6	31.6	15.0	-20.0	0.0	-5.6	-55.0
		<売上額>		-29.4	23.5	-11.8	-11.8	26.3	5.0	0.0	-5.0	0.0	-55.0	
		<売上額>(前年同期比)		-11.8	11.8	-11.8	-17.6	0.0	0.0	0.0	15.0	5.6	-55.0	
<収益>			-29.4	-5.9	-17.6	-5.9	21.1	-5.0	0.0	0.0	0.0	-55.0		
<収益額>(前年同期比)			-11.8	0.0	-23.5	-17.6	-5.3	-10.0	-10.0	10.0	-5.6	-65.0		
<収益>(予想)			-35.3	35.3	17.6	-23.5	-17.6	36.8	30.0	10.0	0.0	-16.7	-35.0	
<販売価格>			-23.5	-11.8	-29.4	-41.2	-10.5	-40.0	-10.0	-10.0	-16.7	-25.0		
<仕入れ価格>			-23.5	-5.9	-23.5	-23.5	-5.3	-15.0	-5.0	-20.0	-5.6	-30.0		
<資金繰り>【楽 - 苦】			-11.8	5.9	5.9	-5.9	5.3	0.0	0.0	10.0	5.6	-5.0		
<人手過不足>【過剰 - 不足】			-17.6	-17.6	-11.8	-11.8	-31.6	-25.0	-30.0	-15.0	-44.4	-20.0		
<残業時間>			-11.8	5.9	5.9	0.0	15.8	-10.0	-5.0	-5.0	-5.6	-30.0		
<借入難易度>【易 - 難】			-5.9	17.6	5.9	5.9	0.0	-5.0	5.0	10.0	0.0	-10.0		
<設備稼働状況>			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
<設備投資割合>(実績)【%】			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
<設備投資割合>(予定)【%】			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

